

		建物性能		有効活用度		固有の要因等	再編計画	
		点数	区分	偏差値	区分			
					建物			機能
5. 図書館	図書館	-4	短	61.02	建替・大規模改修	維持・複合化	<p>短期（H28～H32対応）</p> <p>再編の方向性は「建物は建替・大規模改修、機能は維持・複合化」であり、耐震補強や大規模改修など長寿命化を検討します。老朽化が著しく長寿命化が困難な場合や費用比較等で優位な場合に限り建替え、機能の維持向上を図ります。</p> <p>特に、図書館は、性別や年齢、地域を問わず誰もが利用する施設であることから、建替える場合は、単に本や資料の貸し出しだけでなく、複合化・機能集約により機能強化、連携体制の充実を図ります。</p> <p>なお、重複施設の再編計画との整合性を図ります。</p>	
	図書館宇奈月館	58	長	51.65	維持	向上に向け要検討	<p>長期（H28～H67対応）</p> <p>複合施設である歴史民俗資料館と機能を切り分け、単体での計画とします。</p> <p>そのうえで、再編の方向性は「建物は維持、機能は向上に向け要検討」であり、長寿命化への対応により建物性能を維持しながら、有効活用度の向上に取組み、その検証を行います。</p> <p>なお、重複施設の再編計画との整合性を図ります。</p>	
6. その他社会教育施設	歴史民俗資料館	58	長	40.94	維持・(処分)	転換・複合化・(廃止)	<p>長期（H28～H67対応）</p> <p>複合施設である図書館宇奈月館と機能を切り分け、単体での計画とします。</p> <p>そのうえで、再編の方向性は「建物は維持・(処分)、機能は転換・複合化・(廃止)」であり、長寿命化により建物性能を維持しながら、他の施設を再編する際の代替施設（機能の受け皿施設）として、機能面から利用目的の変更や統合、複合化により余裕スペース（本来の施設用途として利用されないスペース）の有効活用を図ります。</p> <p>有効活用が難しいと判断した時点で機能を廃止し、建物は売却または譲渡します。</p> <p>なお、類似施設の再編計画との整合性を図ります。</p>	
	郷土文化保存伝習館	48	長	52.99	維持	向上に向け要検討	<p>長期（H28～H67対応）</p> <p>再編の方向性は「建物は維持、機能は向上に向け要検討」であり、長寿命化への対応により建物性能を維持しながら、有効活用度の向上に取組み、その検証を行います。</p> <p>なお、類似施設の再編計画との整合性を図ります。</p>	
	ふれあい交流館	83	長	28.89	維持・(処分)	転換・複合化・(廃止)	<p>長期（H28～H67対応）</p> <p>再編の方向性は「建物は維持・(処分)、機能は転換・複合化・(廃止)」であり、長寿命化により建物性能を維持しながら、他の施設を再編する際の代替施設（機能の受け皿施設）として、機能面から利用目的の変更や統合、複合化により余裕スペース（本来の施設用途として利用されないスペース）の有効活用を図ります。</p> <p>有効活用が難しいと判断した時点で機能を廃止し、建物は売却または譲渡します。</p> <p>なお、類似施設の再編計画との整合性を図ります。</p> <p>※ 宿泊施設の有効活用度を推し測る手法を検証しながら、改めて計画を見直すこととします。</p>	
	ふれあいハウス宮野	56	長	30.90	維持・(処分)	転換・複合化・(廃止)	<p>長期（H28～H67対応）</p> <p>再編の方向性は「建物は維持・(処分)、機能は転換・複合化・(廃止)」であり、長寿命化により建物性能を維持しながら、他の施設を再編する際の代替施設（機能の受け皿施設）として、機能面から利用目的の変更や統合、複合化により余裕スペース（本来の施設用途として利用されないスペース）の有効活用を図ります。</p> <p>有効活用が難しいと判断した時点で機能を廃止し、建物は売却または譲渡します。</p> <p>なお、類似施設の再編計画との整合性を図ります。</p> <p>※ 宿泊施設の有効活用度を推し測る手法を検証しながら、改めて計画を見直すこととします。</p>	
	勤労青少年ホーム	44	長	52.99	維持	向上に向け要検討	<p>長期（H28～H67対応）</p> <p>再編の方向性は「建物は維持、機能は向上に向け要検討」であり、長寿命化への対応により建物性能を維持しながら、有効活用度の向上に取組み、その検証を行います。</p> <p>なお、類似施設の再編計画との整合性を図ります。</p>	
	働く婦人の家	6	短	52.99	解体	移転	<p>短期（H28～H32対応）</p> <p>再編の方向性は「建物は解体、機能を移転」であり、大規模改修等の必要性が見込まれる時点で、建物を解体します。</p> <p>構成諸施設のうち有効活用度が高い貸室機能は、他の施設に移転し、他機能と複合化することにより、機能強化、連携体制の充実を図ります。</p> <p>なお、類似施設の再編計画との整合性を図ります。</p>	
	吉田科学館	44	長	46.96	維持	向上に向け要検討	<p>長期（H28～H67対応）</p> <p>再編の方向性は「建物は維持、機能は向上に向け要検討」であり、長寿命化への対応により建物性能を維持しながら、有効活用度の向上に取組み、その検証を行います。</p>	
	美術館	60	長	42.95	維持・(処分)	転換・複合化・(廃止)	<p>長期（H28～H67対応）</p> <p>再編の方向性は「建物は維持・(処分)」であり、長寿命化により建物性能を維持します。「機能は転換・複合化・(廃止)」ですが、特殊な建物性能を有していることから、有効活用度の向上に取組み、その検証を行います。</p>	
7. 文化ホール	コラーレ	62	長	40.94	維持・(処分)	転換・複合化・(廃止)	<p>長期（H28～H67対応）</p> <p>再編の方向性は「建物は維持・(処分)、機能は転換・複合化・(廃止)」であり、長寿命化により建物性能を維持しながら、他の施設を再編する際の代替施設（機能の受け皿施設）として、機能面から利用目的の変更や統合、複合化により余裕スペース（本来の施設用途として利用されないスペース）の有効活用を図ります。</p> <p>特に、本市における文化交流施設の拠点に位置づけられることから、重複または類似機能の集約化を進めます。</p> <p>なお、重複施設の再編計画との整合性を図ります。</p>	
	市民会館	-16	短	50.98	解体	移転	<p>短期（H28～H32対応）</p> <p>再編の方向性は「建物は解体、機能を移転」であり、大規模改修等の必要性が見込まれる時点で、建物を解体します。</p> <p>構成諸施設のうち有効活用度が高い貸室機能は、他の施設に移転し、他機能と複合化することにより、機能強化、連携体制の充実を図ります。</p> <p>なお、重複施設の再編計画との整合性を図ります。</p>	
	セレネ	58	長	40.94	維持・(処分)	転換・複合化・(廃止)	<p>長期（H28～H67対応）</p> <p>再編の方向性は「建物は維持・(処分)、機能は転換・複合化・(廃止)」であり、長寿命化により建物性能を維持しながら、他の施設を再編する際の代替施設（機能の受け皿施設）として、機能面から利用目的の変更や統合、複合化により余裕スペース（本来の施設用途として利用されないスペース）の有効活用を図ります。</p> <p>なお、重複施設の再編計画との整合性を図ります。</p>	

		建物性能		有効活用度		固有の要因等	再編計画	
		点数	区分	偏差値	区分			
					建物			機能
8. 体育館等	総合体育センター	62	長	42.95	維持・(処分)	転換・複合化・(廃止)	<p>長期 (H28～H67対応)</p> <p>再編の方向性は「建物は維持・(処分)、機能は転換・複合化・(廃止)」であり、長寿命化により建物性能を維持しながら、他の施設を再編する際の代替施設(機能の受け皿施設)として、機能面から利用目的の変更や統合、複合化により余裕スペース(本来の施設用途として利用されないスペース)の有効活用を図ります。</p> <p>特に、本市におけるスポーツ施設の拠点に位置づけられることから、重複または類似機能の集約化を進めます。</p> <p>なお、重複施設の再編計画との整合性を図ります。</p>	
	宇奈月体育センター	-26	短	50.98	解体	移転	<p>短期 (H28～H32対応)</p> <p>宇奈月地域が大半の地域施設となっており、広域的な利用が少なく、再編の方向性も「建物は解体、機能は移転」であり、大規模改修等の必要性が見込まれる時点で、建物を解体します。</p> <p>現在の機能で存続すべきものを抽出し、代替施設として総合体育センター、学校や他の施設にある多目的ホール等の有効活用を図ります。</p> <p>なお、重複施設の再編計画との整合性を図ります。</p>	
	健康スポーツプラザ	77	長	48.97	維持	向上に向け要検討	<p>長期 (H28～H67対応)</p> <p>再編の方向性は「建物は維持、機能は向上に向け要検討」であり、長寿命化への対応により建物性能を維持しながら、有効活用度の向上に取組み、その検証を行います。</p> <p>また、一般的な体育館とは異なる機能性を有することから、重複している機能の複合化を進めます。</p> <p>なお、重複施設の再編計画との整合性を図ります。</p>	
	宮野体育館	6	短	38.93	解体	廃止	<p>短期 (H28～H32対応)</p> <p>再編の方向性は【建物は解体、機能を廃止】であり、大規模改修等の必要性が見込まれる時点で、機能を廃止し、建物を解体します。</p> <p>なお、重複施設の再編計画との整合性を図ります。</p> <p>※ 暫定的な評価に基づくため、詳細なコスト状況が把握できた時点で、改めて計画を見直すこととします。</p>	
	林業者等スポーツ研修館	9	短	40.94	解体	廃止	<p>短期 (H28～H32対応) ⇒ 中期 (H28～H37対応)</p> <p>木造のため、老朽化率の算定において他の構造の建物と比べて老朽化率が高く、再編の方向性は「建物は解体、機能を廃止」ですが、耐震基準に適合し、実際の建物性能は高いと考えられることから、劣化度調査や他の施設の再編を踏まえ、中期以降の検討に位置づけます。</p> <p>なお、重複施設の再編計画との整合性を図ります。</p>	
	勤労者体育センター	38	長	61.02	維持	維持	<p>長期 (H28～H67対応)</p> <p>複合施設である東部児童センターと機能を切り分け、単体での計画とします。</p> <p>再編の方向性は「建物は維持、機能も維持」であり、長寿命化への対応により建物性能を維持しながら、更なるサービス向上に取り組みます。</p> <p>なお、重複施設の再編計画との整合性を図ります。</p>	
	宮野運動公園管理事務所	8	短	44.95	解体	廃止	<p>短期 (H28～H32対応) ⇒ 中期 (H28～H37対応)</p> <p>再編の方向性は【建物は解体、機能を廃止】ですが、貸室としての利用がほとんどなく、管理事務所という機能に鑑み、当面現状のまま維持(更新はしない)し、劣化度調査を踏まえ、中期以降の検討に位置づけます。</p> <p>※ 暫定的な評価に基づくため、詳細な利用、コスト状況が把握できた時点で、改めて計画を見直すこととします。</p>	
9. その他スポーツ施設	中ノ口緑地公園管理事務所	56	長	42.95	維持・(処分)	転換・複合化・(廃止)	<p>長期 (H28～H67対応)</p> <p>再編の方向性は「建物は維持・(処分)、機能は転換・複合化・(廃止)」であり、長寿命化により建物性能を維持しながら、他の施設を再編する際の代替施設(機能の受け皿施設)として、機能面から利用目的の変更や統合、複合化により余裕スペース(本来の施設用途として利用されないスペース)の有効活用を図ります。</p> <p>有効活用が難しいと判断した時点で機能を廃止し、建物は売却または譲渡します。</p> <p>※ 暫定的な評価に基づくため、詳細なコスト状況が把握できた時点で、改めて計画を見直すこととします。</p>	
	錬成館	49	長	44.95	維持・(処分)	転換・複合化・(廃止)	<p>長期 (H28～H67対応)</p> <p>再編の方向性は「建物は維持・(処分)、機能は転換・複合化・(廃止)」であり、長寿命化により建物性能を維持しながら、他の施設を再編する際の代替施設(機能の受け皿施設)として、機能面から利用目的の変更や統合、複合化により余裕スペース(本来の施設用途として利用されないスペース)の有効活用を図ります。</p> <p>有効活用が難しいと判断した時点で機能を廃止し、建物は売却または譲渡します。</p>	
	市民プール	47	長	51.65	維持	向上に向け要検討	<p>長期 (H28～H67対応)</p> <p>再編の方向性は「建物は維持、機能は向上に向け要検討」であり、長寿命化への対応により建物性能を維持しながら、有効活用度の向上に取組み、その検証を行います。</p> <p>※ 暫定的な評価に基づくため、詳細なコスト状況が把握できた時点で、改めて計画を見直すこととします。</p>	
18. 児童センター	東布施トレーニングセンター	-18	短	52.99	解体	移転	<p>短期 (H28～H32対応)</p> <p>再編の方向性は「建物は解体、機能を移転」ですが、町内会単位での利用が大半の町内会施設であり、現状の利用状況から、市としての行政サービスを提供する必要性は低く、市域での均衡を図るため、機能を廃止し、建物は地元町内会等への譲渡の可能性を検討します。</p> <p>※ 暫定的な評価に基づくため、詳細な利用状況が把握できた時点で、改めて計画を見直すこととします。</p>	
	中央児童センター	36	長	67.71	維持	維持	<p>長期 (H28～H67対応)</p> <p>再編の方向性は「建物は維持、機能も維持」であり、長寿命化への対応により建物性能を維持しながら、更なるサービス向上に取り組みます。</p>	
	東部児童センター	42	長	69.05	維持	維持	<p>長期 (H28～H67対応)</p> <p>複合施設である勤労者体育センターと機能を切り分け、単体での計画とします。</p> <p>そのうえで、再編の方向性は「建物は維持、機能も維持」であり、長寿命化への対応により建物性能を維持しながら、更なるサービス向上に取り組みます。</p>	

		建物性能		有効活力度		固有の要因等	再編計画	
		点数	区分	偏差値	区分			
					建物			機能
20. 医療保健施設	宇奈月老人福祉センター	32	長	44.95	維持・(処分)	転換・複合化・(廃止)	長期 (H28~H67対応) 再編の方向性は「建物は維持・(処分)、機能は転換・複合化・(廃止)」であり、長寿命化により建物性能を維持しながら、他の施設を再編する際の代替施設(機能の受け皿施設)として、機能面から利用目的の変更や統合、複合化により余裕スペース(本来の施設用途として利用されないスペース)の有効活用を図ります。 有効活用が難しいと判断した時点で機能を廃止し、建物は売却または譲渡します。	
	認知症高齢者グループホーム	42	長	59.01	維持	維持	長期 (H28~H67対応) 複合施設である宇奈月健康福祉センター、宇奈月デイサービスセンターと機能を切り分け、単体での計画とします。 そのうえで、再編の方向性は「建物は維持、機能も維持」であり、長寿命化への対応により建物性能を維持しながら、更なるサービス向上に取り組みます。	
	宇奈月健康福祉センター	72	長	44.95	維持・(処分)	転換・複合化・(廃止)	長期 (H28~H67対応) 複合施設である認知症高齢者グループホーム、宇奈月デイサービスセンターと機能を切り分け、単体での計画とします。 そのうえで、再編の方向性は「建物は維持・(処分)、機能は転換・複合化・(廃止)」であり、長寿命化により建物性能を維持しながら、他の施設を再編する際の代替施設(機能の受け皿施設)として、機能面から利用目的の変更や統合、複合化により余裕スペース(本来の施設用途として利用されないスペース)の有効活用を図ります。 有効活用が難しいと判断した時点で機能を廃止し、建物は売却または譲渡します。	
21. 農業振興施設	石田農林漁業体験実習館	29	長	63.03	維持	維持	長期 (H28~H67対応) 再編の方向性は「建物は維持、機能も維持」であり、長寿命化への対応により建物性能を維持しながら、更なるサービス向上に取り組みます。	
	宇奈月農村活性化センター	46	長	57.00	維持	維持	長期 (H28~H67対応) ⇒ 短期 (H28~H32対応) 再編の方向性は「建物は維持、機能も維持」ですが、現状の利用状況から、市としての行政サービスを提供する必要性は低く、市域での均衡を図るため、機能を廃止し、建物は売却または譲渡の可能性を検討します。 ※ 詳細な利用状況が把握できた時点で、改めて計画を見直すこととします。	
22. 水産業振興施設	フィッシャーナセミナーハウス	56	長	54.99	維持	向上に向け要検討	長期 (H28~H67対応) 再編の方向性は「建物は維持、機能は向上に向け要検討」であり、長寿命化への対応により建物性能を維持しながら、有効活力度の向上に取組み、その検証を行います。	
	水産物地方卸売市場	2	短	54.32	解体	移転	短期 (H28~H32対応) ⇒ 中期 (H28~H37対応) 再編の方向性は【建物は解体、機能を移転】ですが、現状の利用形態に鑑み、当面現状のまま維持し、劣化度調査を踏まえ、中期以降の検討に位置づけます。	
24. その他	宇奈月温泉会館	-26	短	73.07	建替・大規模改修	維持・複合化	短期 (H28~H32対応) 平成28年度に総湯会館が供用開始する。 公衆浴場機能を総湯会館へ移転し、建物は解体します。	
	窪野高齢者共同作業センター	40	長	40.94	維持・(処分)	転換・複合化・(廃止)	長期 (H28~H67対応) ⇒ 短期 (H28~H32対応) 再編の方向性は「建物は維持・(処分)、機能は転換・複合化・(廃止)」ですが、現状の利用状況から、市としての行政サービスを提供する必要性は低く、市域での均衡を図るため、機能を廃止し、建物は売却または譲渡します。	
	田柵高齢者共同作業センター	46	長	57.00	維持	維持	長期 (H28~H67対応) ⇒ 短期 (H28~H32対応) 再編の方向性は「建物は維持、機能も維持」ですが、町内会単位での利用が大半の町内圏域施設であり、現状の利用状況から、市としての行政サービスを提供する必要性は低く、市域での均衡を図るため、機能を廃止し、建物は地元町内会等への譲渡の可能性を検討します。 ※ 暫定的な評価に基づくため、詳細な利用状況が把握できた時点で、改めて計画を見直すこととします。	
	納骨堂	-16	短	55.66	解体	移転	短期 (H28~H32対応) ⇒ 中期 (H28~H37対応) 再編の方向性は【建物は解体、機能を移転】ですが、現状の利用形態に鑑み、当面現状のまま維持し、劣化度調査を踏まえ、中期以降の検討に位置づけます。	
	農村文化伝承館山本家	0	短	32.90	解体	廃止	短期 (H28~H32対応) ⇒ 中期 (H28~H37対応) 再編の方向性は【建物は解体、機能を廃止】ですが、観光振興施設の位置づけでの活用が見込めることから、当面現状のまま維持し、劣化度調査を踏まえ、中期以降の検討に位置づけます。	
	布施山会館	16	中	59.01	解体	移転	中期 (H28~H37対応) ⇒ 短期 (H28~H32対応) 再編の方向性は「建物は解体、機能を移転」ですが、町内会単位での利用が大半の町内圏域施設であり、現状の利用状況から、市としての行政サービスを提供する必要性は低く、市域での均衡を図るため、機能を廃止し、建物は協議のうえ地元町内会へ譲渡します。 ※ 暫定的な評価に基づくため、詳細な利用状況が把握できた時点で、改めて計画を見直すこととします。	